

当院で内視鏡的胆嚢ステント留置術を受けた患者さんまたは
ご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和6年4月1日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

内視鏡的胆嚢ステント留置術における beforehand ENBD cutting 法の有用性に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 国立病院機構 北海道医療センター・病院長 伊東 学

[研究責任者名・所属] 加藤 新・北海道医療センター 消化器内科

[研究の目的]

内視鏡的胆嚢ステント留置術における、ステント留置手法の工夫の有用性を検討する

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2020年4月1日から2025年3月31日までに、当院で急性胆嚢炎に対して内視鏡的胆嚢ステント留置術をうけた方。

○利用する情報

- ・カルテ情報：年齢、性別、身体所見、病歴、診断名、治療歴、服薬歴、症状、生存情報、偶発症の有無疾患の状態等
- ・血液検査データ
- ・各種画像検査（内視鏡検査、X線検査、CT検査）内容
- ・手技成功率、完遂率の評価に関わる項目
- ・偶発症率の評価に関わる項目
- ・手技時間の評価に関わる項目
- ・臨床奏効の評価に関わる項目
- ・ステント開存期間の評価に関わる項目

[研究実施期間]

実施許可～2026年3月31日（登録締切日：2025年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

国立病院機構 北海道医療センター 消化器内科

担当医師 加藤 新

電話 011-611-8111 (代表)